

炭貯クラブご参加での注意事項 (環境価値二重主張の回避について)

炭貯クラブのプログラムに参加することによって、バイオ炭を農地施用することによる二酸化炭素削減量を、国の基準のもとで「クレジット」として可視化し、J-クレジット制度を通じて販売可能にしています。ですので、「クレジット」の売り手（参加者）と買い手（クレジット購入企業）の双方が**同時（二重）に、環境価値を主張することは禁止されております。**

ここに、主張できない内容と主張できる内容をまとめておりますので、炭貯クラブ参加者の営業活動等の参考にしていただければと思います。

●主張できない内容

・農地が二酸化炭素を貯留・削減しています。といった直接的な表現

例1：本商品は、二酸化炭素を貯留・削減した農地でできた野菜を使って製造しています。

例2：農地にバイオ炭を施用し二酸化炭素削減に貢献しています。

●主張できる内容

・農地がJ-クレジット制度に登録しています。

・農地がJ-クレジット制度への登録を通じて地球温暖化対策に貢献しています。といった間接的な表現

例1：本商品は、J-クレジット制度に登録した農地でできた野菜を使って製造しています。

例2：この農地は、J-クレジット制度への登録を通じて地球温暖化対策に貢献しています。

例3：本商品は、クルベジ® 野菜を使用して製造しています。

※クルベジ® 使用するには、条件があります。詳しくは、プログラム参加申請書をご確認ください。

